

# 月刊 ゆがの通信

2017年2月号

発行：ゆがの薬局

## 頑固な脊柱管狭窄症が「プラセンタ療法」で改善

### 脊柱管狭窄症のサイン

健康のために歩く方が増えていますが、高齢の方の中には「腰曲げ休憩」をされている方をよくお見かけいたします。腰曲げ休憩とは、歩き始めて少し経つと足腰にしびれや痛みが出てつらくなるので立ち止まって前かがみになり休憩すると症状が軽くなるのでまた歩く。ところがまた痛くなって休みたくなるといふ状態を「間欠性跛行（かんけつせいはいこう）」と呼び、これが「腰部脊柱管狭窄症（ようぶせきちゆうかんきょうさくしゆう）」の典型的な症状なのです。この病気は加齢に伴う腰椎の変形が原因で、中枢神経の束が通っている脊柱管が狭くなり、神



経が圧迫されるために起こります。腰に激しい痛みが起こるほか、足へと延びる神経も圧迫されるため、足の痛みやしびれや間欠性跛行でときれときれにしか歩けなくなり、日常生活が大変不便になってしまいます。実は脊柱管狭窄症は腰痛を引き起

す病気の中でも最も治しにくいものの一つで、その理由は高齢や持病により手術が受けられなかったり、手術を受けて脊柱管を元の通りに広げても、長年痛めつけられた神経がもとに戻らなかったりするからです。

そんなお悩みの方にぜひ試していただきたいのが「プラセンタ療法」です。

### 「プラセンタ療法」とは？

プラセンタとは哺乳類の胎盤を意味しますが、一般的には人間やブタの胎盤から抽出されたエキスのことを指します。

胎盤は胎児の成長に不可欠な栄養や身体の動きを活発にする生理活性物質、酵素などを豊富に含んでいることから、血行促進作用、抗炎症作用、細胞活性化作用、基礎代謝向上作用などの薬理作用があることで注目されています。

これらの作用が複合的に働いて、傷ついたり、周辺の組織を若返らせたりして痛みやしびれの改善に効果が出ています。

ある病院では頑固な腰痛や足の痛み、間欠性跛行が改善しない重症の脊柱管狭窄症の患者さんにプラセンタ療法を行ったところ、約六十二％の方に顕著な改善が見られたという報告があり、足のしびれや痛みがとれた、間欠性跛行が回復して歩行距離が伸びたというケースがあります。

プラセンタ療法は病院では注射で投与されることが一般的ですが、最近ではプラセンタの栄養補助食品を利用して脊柱管狭窄症の症状が改善したという人が増えていきます。そこで毎日ご自宅で簡単にプラセンタを摂取できるように開発されたのが「ダブルリンクルX錠」です。

すでに脊柱管狭窄症の症状でお悩みの方だけでなく、予防のためにも効果的です。ダブルリンクルX錠で健康で元気な毎日を取り戻しましょう。



タキザワ漢方廠

「ダブルリンクルX錠」

（第二類医薬品）

三六〇錠入り（一か月分）

八、八〇〇円＋税

一回六錠を朝夕食後に服用してください。



「ダブルリンクルX錠」についてのご相談は店頭だけでなく、お電話でも受け付けております。

「こころがワクワクするとからだも元気に」

やる気がおこらない、イライラしやすい、心配事ばかりで不安、うつ、眠れない方  
ケアバランスでこころを安定させ健康な毎日を送りましょう



ゆがの薬局

賀茂郡河津町浜149-4 TEL0558-34-0150  
当店ウェブサイト <http://www.yugano-ph.co.jp>

1ヶ月分 8200円（税込）